

情報研究会

学生団体UniX

- ・中央大学 4年
高橋 康央
- ・青山学院大学 3年
松尾 大史

- ## ～アジェンダ～
- ①UniXとは
 - ②ネットリテラシー講座設立の背景
 - ③大学生である理由
 - ④質疑応答

～UniXの概要～



- ◎ 学生団体UniX
- 活動内容：
 - ・ ネットリテラシー講座
(対象：小学生～大学生)
 - ・ ソーシャルメディア勉強会
- 設立：2010年4月
- 構成メンバー：学生20人
→千葉大学、横浜国立大学、中央大学、青山学院大学、関西学院大学、立命館大学、など約15校
- 活動拠点：関東、関西
- 協力会社：株式会社GaiaX

～UniXの実績～

- ◎ 過去の実績
- 学校数：28校で実施
→国士館高校、桜美林高等学校、成城学園中学高等学校、千葉大学など
- 受講者数：約8000人の生徒が受講
- メディア掲載：朝日新聞、全私学新聞など



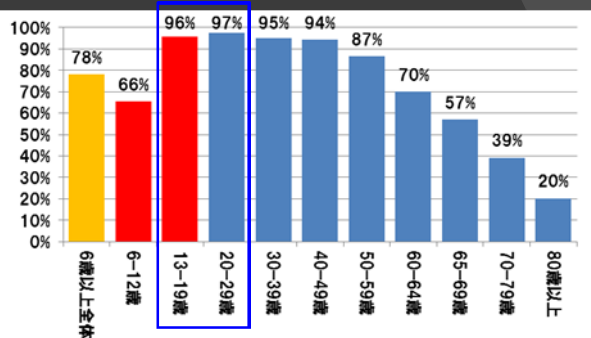
教育家庭新聞 全私学新聞 朝日新聞

ネットリテラシー講座設立の背景

mixi 2004年
facebook 2004年
Twitter 2006年

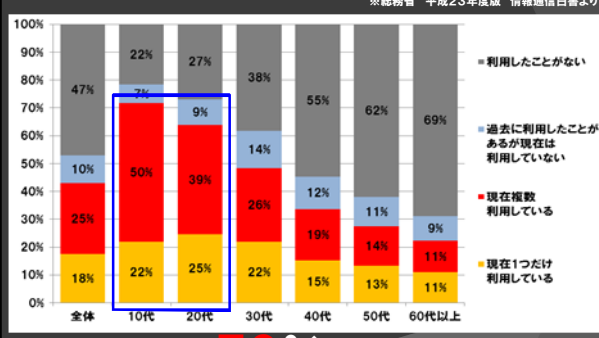
実は今どきの
ソーシャルメディアは、登場してから
まだ10年も経っていません。

現在のインターネットの利用率は・・・ ※総務省 平成23年度版 情報通信白書より



13歳～ 29歳の利用率約**97%**

そしてソーシャルメディアの現在の利用数、利用経験は・・・ ※総務省 平成23年度版 情報通信白書より



10代・20代は約**70%**が1つ以上を使っている

つまり、
まだまだルールは未発達な状態で
数多くの人々が利用している状態

ネットを使うには、
講習も免許も要りません。



ネット上の交通事故 Ⅱ 炎上・ケンカ・いじめ

しかし、
ソーシャルメディアに特化した
啓発講座が行われていない。

ソーシャルメディアを
日々使っている大学生が
気を付けるべき点を教えます！

インターネットは、子供たちにとって
禁止・制限すべきもの
➡ **活用すべきもの**
ソーシャルメディアと子供は、ますます
切っても切り離せない関係へ

大学生が講座をして質的に大丈夫か？

①最近、大学生が講演する場
が増えている。

例えば、、、



子どもから大人まで、みんなが笑顔

KATARIBA

NPOカタリバとは、「学校に“社会”を運ぶ」をテーマに、若者/子どもたちへ教育活動を行うNPO団体。

これまで約460校で実施、約10万人の生徒に“将来”や“進路”を考える“きっかけ”を届けてきた。

授業を行うのは、大学生を中心としたボランティア・スタッフ。



アカデミーキャンプ

原発で「遊び・学びの機会」が減った福島の小・中学生に大学生が、遊びと学びを提供し、「子どもたちとその家族に笑顔を」。

(※ネットリテラシー講座実施)



②受講生の反応も良い！

受講者の声

ポジティブな側面からのお話なので気分よく聞け、そこに危険性について触れられたことで、その点も印象に残りやすいと思いました。
(高校3年生)

インターネットは危険！
みたいな内容かと思ったら違ったので新鮮でした。
(高校1年生)

インターネットは世界中につながっていることを確信できた。
プロフ、ブログの使い方をしっかり理解できたと思う。情報の更新はすごく注意しなくてはと思った。
(中学3年生)

とても興味深かったです。
自分達と年が近い人たちが話してくれたので、聞きやすかったです。
(高校2年生)



講座の様子

最後に

大学生が教える

Unix

ネットリテラシー講座

3つの特徴

- 1、授業作りは学校ごとに1から作成
- 2、現在の傾向をいち早く察知したコンテンツ
- 3、ポジティブな部分に焦点を当てている

ご清聴ありがとうございました。

